護者の方を見たりしていました。十四

日

(土)では、どの教室でも入りきれなく、

の学習の様子を、ご家庭の話題 下にあふれる程でした。今回の子供た

にして

学校の教育相談のご利用を

校長 中 尚 盛

ことがうれしくて、合図を送ったり、 ただき、大いに励みになったと思います。ルで一生懸命学ぶ子供たちの姿を見てい 公開 来校していただき、ありがとうござい 年生の教室では、 日には、 暑さに負けず、 延べ八百二十七名の方がご 保護者の方がいる 保 カウンセラー、

さて、十六日(月)の全校朝々ただければと願っております。 らした気持ちから友達とけんかをし ·六日 (月) の全校朝会で「い ことをやったり、危険な たり、 な

b

らしたり、とりする人がい、 持ちに きたら、 げとげした気 ル 相のカ な 話談先 ンスセク 0 て います。 九月に元気で子供たちを迎えたいと思

練馬区立大泉小学校

<所在地>



練馬区東大泉 4-25-1 03-3924-0144 TEL

絡が取れますので、相談中でなければ、 ご遠慮なくご一報をお願いいたします。 相談員の浅沼先生が来校いたします。ラーの小西先生、火曜日と木曜日に小学校では、月曜日にスクールカウン話しました。 ご相談もお待ちしております。 います。子供だけでなく、保護者の方の非、この制度をご活用いただけたらと思 080-2012-4061」(お 心の相談員とも、 火曜日と木曜日に心 お知らせします。 次の携帯番号でも カウン

せないで、生活のリズムがなるべく安定なと思います。ゲーム等で夜更かしをさ しますようご協力お願いいたします。

また、一学月雪で、文作成などじっくりチャレンジさせてみてはいかがでしょうか。

「具、観察、生き物の飼育、読書感想 す。つまずいている箇所に立ち戻り、復リルなどの復習をさせてみたらと思いま元については、授業で使用していますドまた、一学期理解が不十分な教科、単 |習することが肝要かと思います。

学校まで っでも連 来校時 か 16 15 12 11 10 9 8 7 4

日日

日 日

日日 金木

18 17

火 · 23 日 (水)

22 目

(木)

24 日

18 8 日 月

(月

Ź7 日

(水)

日 (水) ~ 29 日 夏季水泳指導

27

ラジオ体操

(日 練馬区防災フェ 学力補充教室

スタ

夏季休業終

い夏休みをお過ごしく

31

日

《7月》

月

8

月

0

行

事

予 定

1 目 防 災 訓

3 目 2 日 (水) 個人面 安全指導· 談 安全点

 $\widehat{5}$

1

検

委員会活動 都学力調査

日 日 金 個人面談

月 三校合同水泳(五)

ことがたくさんあります。

学校の生活の中では時間を意

識

す

Ź

(水) 個人面談・自転車教室 宿泊学習前健診 (五) 3

(木) 下田合同宿泊 泊学習始 쥪.

日

日日 (土金 下田合同宿泊学習終個人面談 クラブ活動

《授業日》 (特別時 程 쥪.

水火

夏休み前朝会 クラブ活動 会 特別

月 夏海 海の 日 終 業始

21 日

学力補充教室

~8月1日 夏季水泳指導 (金

金)

(木) 29日(金)

28

日

《7月の生活目標》 時間を守って 生活しましょう」

うに時間 ・ます。 大きな時間となるものです タ 1 A わずか数分でもそれが集ま は昔から貴重な物と言われて マネー」と ・うよ れ

良い伝統がいつまでも引き継がれると 供たちも実感しているようです。この を待っている姿が見られるようになり や集会が始められるように声 いいですね。 ました。 校児童が静かに並び、 ています。この何年かは、 八時三十分のチャイムと同 月曜日の全校朝会や水曜日 時間を守ることの大切さを子 朝会が始まるの 時間前に全 かけをし 時に朝会 0) 集 不会で

する時は勉強するというけじめをつけ って生活することが大切であることを、 て学校生活を送ってほしいと思います。 供たちが経験して学んで言ってほ と思います。 効に使うためには、 一人一人に平等に与えられ 遊ぶときは遊ぶ。 全員が時間 長澤拓哉 た時間 を守 勉 強

0

和室

場所は・・・

います。

定 期 健 康 診 断 を終えて

|家庭り皆食りでも1.||健康診断が六月三十日で終了します。ご||健康診断が六月三十日で終了します。ご| 家庭の皆様のご協力ありがとうございま 健室に 来て、二ヶ月 が過

果だけではなく、ぜひ、生活習慣を見直 のていただく良い機会ですので、数字や結 自まえ、各家庭で、日頃の生活を振り返っ 生たでしょうか。今回の健康診断結果をふ ょ 健康カードは、先日お手元に届きまし ます。。任に提出してください。学校保管していドは、ご覧になりましたら押印をし、担 りしていただければ幸いです。健康カーしたり、お子さんと一緒に成長を喜んだ

楽しく過ごしてほしい」と思っておりまとして、子供たちには、毎日を「元気にのます。私も子を持つ親として、養護教諭りたちに伝えていけたらとても良いと思いで用常生活の中で繰り返す事により、子供 は自分で守る」と言う自らの意識を高め分自身の健康に興味を持ち「自分の健康リーニングするのはもちろんですが、自 は、大人が健康な生活の見本「食事、運ていくために進めています。そのために 健康診断では、さまざまな疾病をスク 今後ともご家庭の皆様のご協力をど 一眠」の調和のとれた生活を意識し、

きますようお願いいたします。全員が、んは、早めに医療機関を受診していただ「受診のおすすめ」をお渡ししたお子さ 力お願い致します。 (中野 久栄)元気に安全にプールに入れますようご協 より 導 が始まって います。 れ

うぞよろしくお願い致します。

下 田 移動 教室 年

ナー、係活動など思い出しながら準備をの厳しさも昨年学んでいます。時間やマ 生活の中では多い子供たちでもあります。」はっとならいいか。」甘えや許しが普段の 「楽しめる」子供たちです。しかし「ち ます。味わえる六年生。そしてどんな局面でも それぞれの目標に向かってがんばっていわあ」「すごい」と声を上げ、体で感動を ぐことを目標にしている子、一人一人がは海の移動教室です。どんな時でも「う ことを目標にしている子、二十分以上泳 してきました。 自然に親しむことだけでなく、集団生活 室に行ってきました。去年は山、今年 四日で、 田

ました。結果を発表します。 そんな下田移動教室アンケー \vdash -を採り

いている方の様子や生き物の世話につい す。十月の宿泊学習では軽井沢の鼻曲山普段絶対入ることのできない場所で、働 田外浦海岸での海水浴を楽しんだりしまこではバックヤードも見せていただき、 を味わいながらハイキングをしたり、下ぐられ、クラゲに癒やされ・・。またこ 同宿泊学習があります。伊豆半島の自然コーを見て、ドクターフィッシュにくす 七月十日~十二日の二泊三日で下田台 たのも高得点の理由です。 て伺いました。もちろんお土産を購入し 〈第一位〉下田海中水族館・・イ

く釣れなかった子も、釣り堀で必ずヒッした子が多かったようです。堤防では全 〈第三位〉釣り体験・・初めて海釣りを一の火、いつまでも心に灯して欲しいです。 |りでした!最初に火の神が下さった四つ 達を釣っている子も・・。 で歌って踊ってゲームして。大盛り上が〈第二位〉キャンドルサービス・・室内 大きな魚がかかりました。 たまに友

子供たちの生の声、ぜひ読んでいただけ胸に、これからまとめ学習に入ります。 ここには書き切れないほどの思 い出を

常学級の子供たちとのかかわりは、お互

いのよさを認め合うよい機会となってい

緒にマラソンを走ったり、こいのぼりを

習を積極的に行っています。

あげたり、給食を食べたりしました。通

波 江 野 礼子)

組 **0**

たが、五組では水泳指導が始まり、不安定な天気が続いた六月の中旬 プールで元気に泳いでいます。水に潜る 旬 毎日 で

明けが待ち遠しいです

食

室

ルカシ 広がり、絆も深まります。 <u>n</u> も大きく成長します。 どを通して心身ともにたくましい子を育五組では毎日の水泳指導、マラソンな り棒の高さなどを克服した時、心も身体ソンの苦しさ、クライミングネットや登 技能の向上はもちろん、水の怖さ、マラ |めるよう指導をしています。体力や運動 助け合ったりすることで人間関係が 友達と競い合った

自然の中で東京では味わえない貴重な体くの学びも与えてくれます。子供たちは恐ろしい面をもっていますが、同時に多る太陽、足をくすぐる白砂。自然は大変 塩辛い水、起伏に富んだ海底、照りつは海はまったく違います。押し寄せる波、海、山で大自然を満喫します。プールレ 縦走登山に挑戦します。年間を通 験をたくさんして成長していきます。 mを潰極的に行っています。今年度は一学校では通常学級との交流及び共同学でをたくさんし、 F扌 山で大自然を満喫します。プールと 起伏に富んだ海底、照りつけ して、

十分に

がけています。子供達の夏バテ防止のため を考えて、栄養バランスのとれた献立を心 使用し、必要な栄養素や食品の組み合わせ大泉小学校の給食はいろいろな食べ物を 良い食事で栄養をしっかりとって、 そんな夏バテを防ぐためには、バランスの ンスが崩れ、体調を崩しやすくなります。 にも給食をしっかり食べてほしいと思いま 休養することが大切です。 急な気温や湿度の変化から体内のバラ

いしく、愛情のこもった給食を提供できるそのためにも作り方を工夫し、安全でお よう給食室一同がんばっていきます。

(給食室一 同

擁 護より

Ħ 次のような新聞記事を目にし まし

っている。」 で避難が続く中、小中学校はもとの場所に 立小学校の小学生三人が、町民が暮らす仮「東日本大震災から三年。福島県のある町 各校が総合的な学習の時間の中で授業を行 受け継ぎ、復興を担う人材を育てようと、 戻れない。 の一貫である。震災後、いまだ多くの地域 説住宅を初めて訪れた。 それだけに古里の伝統、 訪問の目的は 文化を 授業

達も、地域との結びつきを大事にしながら、 いと願います。大泉小学校の先生方、子供 の人達をつなぐ役割を果たしていただきた 元気に安全に過ごして欲しいと思います。 学校を中心にして、 離れ離れになった町

(学童擁護)